

## 令和4年度 第2回学校運営協議会報告

- 1 日 時 令和4年10月6日(木) 午前10時から正午まで
- 2 場 所 静岡県立伊豆の国特別支援学校伊豆松崎分校(松崎高等学校会議室)
- 3 内 容
  - (1) 授業参観 1年音楽(松崎高校との交流)、2・3年職業
  - (2) 学校経営についての意見交換
    - ・授業参観の感想・意見
    - ・進路に係る学習について
    - ・前期学校評価について
    - ・その他連絡等
- 4 参加者 令和4年度学校運営協議会委員5人 副校長 部主事
- 5 委員からの質問、意見、提案など

### ①授業参観について

- ・1年の松崎高校との授業交流「音楽」では、分校生がずいぶん練習していると感じた。大勢でやることの意義がある。
- ・音楽は刺激を受け合ってよい。交流が再開できるとよい。
- ・松崎高校生の表情を見ていたが、前のめりに聴いていた。受け止めがしっかりしている。周りの受け止めが大事になるのでよかった。
- ・音楽は、分校生の個性がはっきり出ている。松高生は、面白ければ笑ってくれる、ふれあいがいい。
- ・1年生は、これから3年間付き合っていくので、1年生の段階から交流を積み重ねられれば良い。分かっておおらかに対応してくれることが大事。そういう社会になることが目標。松崎高校も共生・共育を大事にしている。松崎高校からの交流の呼びかけが積極的。
- ・3年の「職業」の授業の面接練習は、教官役の生徒が上手で演劇を見ているようだった。受け答えもはっきりしていて驚いた。立場を変えることで練習になる。
- ・2年の「職業」での挨拶は普段からやってくれればよい。なかなか目を見てできないが、指導されていた。
- ・丁寧に実習の準備をしてもらってありがたい。
- ・体育祭では、松高生が分校職員室に来て「分校の子ができるか」等、相談してくれた。

### ②3年間の進路に係る学習について

- ・8月の読売新聞の記事より(別添)国が企業を指定し、障害者就労のミスマッチをなくすためにアセスメントをスタートさせる。就職の輪が広がるのでは。地域によって差はあると思うが、明るいニュース。
- ・進路や施設などの選択肢が少ない。やりたいことをできる子と、そうでない子がいる。家庭と本人の意見、学校と家庭のギャップのサポートを、聞いてもらえる時間をとってもらえると、個性に合った実習先でやれるのでは。
- ・学校出てからがずっと長いので、素の自分を出していければ楽に過ごせる。素の自分を学校で出していけるよう、サポートをできればと思っている。
- ・実習の傾向は？同じところでずっと続けるのか？  
→1、2年生の間にいろいろな所で経験をする。3年生で就職などのマッチング。進路先のその先も見据えて複数の施設での体験をすることもある。  
職業の学習で、自分の良いところ等を学習しながらどのような仕事に向いている等考えるが、仕事・働くと言っても初めは分からない。実習壮行会、報告会等で先輩

たちの様子（実習先、仕事内容等）を聞いて、考えていく。少ない実習回数で、適性を見ていく。

- 10日間の実習で、始めの3日間はここ、その次はここ、というように実習先を変えてたくさん経験するか？  
→同じ実習先で10日間実習を行うことで、先方に実態を見てもらうことができ、細かく評価もしていただく。そうすることで振り返り時に新たな課題も見え、学校生活でその課題を意識しながら生活していく
- 実習先や進路先で細かく見て（理解して）もらえるようになるといいが。  
→ジョブコーチ制度がある。実習前の打ち合わせでも、担任から生徒の実態（特性等）を伝えている。作業内容も確認するので、生徒ができるような手立ては担任がしている。
- 就職後の支援は？離職した場合は？  
→就業・生活支援センター「わ」は、実習の時から見回り、本人や企業からの相談を受けている。生活面も含め支援することもある。  
「わ」は、定期的な訪問のほか、余暇支援もしている。選挙や薬物に関する勉強会等の案内を、2か月に1回企業を訪問して、渡している。  
卒業時にも移行支援会議があり、関係機関と情報共有している。
- 連携支援会議に参加する福祉課の人は、どのようなポジションの人？  
→生徒の在住市町の福祉課の担当。担当者が代わり、引継ぎが時々うまくいかないことがある。担当離れても困らないようにきちんと引き継いでほしい。
- つくし学園の2増2減案。それについて、学校は要望しない？  
→知的障害のみでの施設入所のニーズは少ない。いくつかの施設併設の分校・分教室が閉校になり、児童の施設が成人の施設になった。成人はニーズがある。学校がすごく困るということはない。少子化の影響もあるか。

### ③前期学校評価について

- 作業製品の販売会をやると、地域の人を知る。PRする機会になる。
- 県が賀茂地区の高校再編をうたっているが、松高は大丈夫か。  
新聞記事には、白紙の状態だが、高校の再編には反対意見がたくさん出たとあった。子どもの数は、減っていく傾向。
- 他校では、県外からの募集をしているところもある。注視していかないといけない。

### ④その他

- 雲見の募金活動も松崎高校から声がかかり、分校でも取り組んだ。
- 日曜日に、地域の桜田地区の方と交流の稲刈り予定。参加希望が多い。
- 12日に県知事が来校し、伊豆松崎分校の生徒が伊豆松崎牛原太鼓の披露と地域と関わる学習の紹介をする。
- 次回は2月2日（木）10：35からの予定。